

Emacs 上での GAMS の利用法

武田史郎

2014 年 3 月 2 日

要旨

Emacs 上で GAMS を利用する（プログラムを編集する、GAMS を実行する）方法について説明した文書です。

内容

1.	Emacs とは？	1
1.1.	Emacs の種類.....	2
2.	インストールと設定	3
2.1.	GAMS の方の準備	3
2.2.	gnupack のインストール.....	3
2.3.	GAMS mode のインストール.....	4
2.3.1.	GAMS mode のファイルのコピー.....	4
2.3.2.	GAMS 用の設定ファイル.....	4
2.3.3.	Emacs の初期設定ファイルの書き換え	5
2.4.	Emacs の起動.....	6
2.5.	Emacs と GAMS mode の動作のチェック	6
2.6.	GAMS mode の設定のチェック	7
2.7.	上手くインストールできない場合	9
3.	使い方.....	9
3.1.	Emacs の利用方法	9
3.2.	Ctrl キーと CapsLock キーの入れ替え	10
3.3.	GAMS mode の利用方法	10
4.	GAMS mode 以外のマクロ	11

1. Emacs とは？

- Emacs とはテキストエディタです¹。元々は Unix 用として開発されたソフトウェアで

¹ 元々はテキストエディタでしたが、現在ではテキストエディタとしての機能以外の機能も提供しています。例えば、ファイルのコピーや移動、ネットの閲覧、メールの読み書き、Twitter の読み書きなども Emacs 上でおこなうことができます。

したが、現在では Windows 版や Mac 版もあります。

- Emacs は高度なマクロ（拡張言語）を備えており、それを用いることで様々な機能を追加することができます。実際、Emacs に新しい機能を加えるための様々なマクロが作成されています。
- この文書では Emacs 上での GAMS の利用法について説明したいと思います。具体的には Emacs の設定方法、使い方、及び Emacs 用に筆者（武田）が作成した GAMS mode というマクロの説明をします。

1.1. Emacs の種類

- 上で述べたように様々な OS 用の Emacs がありますが、それに加えていくつかの種類があります。
- GNU project の Emacs
 - <http://ftp.gnu.org/gnu/emacs/windows/>
 - これが GNU Project が配布している大本の Emacs です。外国人ならこれをそのまま利用している人が多いと思います。
 - しかし、これは日本語の IME（MS-IME や ATOK）等のインライン表示に対応していませんので日本語の入力がしにくいという問題があります。
- gnupack の Emacs
 - これは gnupack というプロジェクトが配布している Emacs です。
 - gnupack: <http://sourceforge.jp/projects/gnupack/>
 - gnupack というのは、Emacs も含め Unix 系のプログラムを Windows 用にまとめて配布するプロジェクトです。
 - これに含まれている Emacs は日本語の IME のインライン表示に対応するように修正が加えられています。
 - 以下ではこの Emacs を使うことを前提として話を進めます。最低限で良ければ Emacs さえインストールすればよいのですが、ここでは Emacs 以外のツールも含め gnupack 全体をインストールすることにします。
- その他の Emacs
 - その他にも Meadow と呼ばれる Emacs の類似プログラムがあり、これも日本語 IME に対応していたため、かつては利用している日本人が多かったのですが、既に開発が止まってしまいました。現在は gnupack の Emacs を利用するのがよいと思います。
 - Mac 用にはまた別の Emacs があるようなのですが、私は Mac を利用しておらず知識がありませんので、ここでは紹介していません。

2. インストールと設定

Emacs とその上で動く GAMS mode のインストール方法と設定について説明します。

2.1. GAMS の方の準備

- Emacs から GAMS を実行するにあたって、GAMS のインストール場所を変更する必要がある場合があるので、まずそれを確認します。
- GAMS を既にインストールしている場合にはスタートメニューに GAMSIDE が登録されていると思います。その GAMSIDE のプログラム本体 (gamside.exe) がどこにあるかを確認してください (アイコンを右クリック→「プロパティ」で確認できるはずです)。
- もし、それが「C:\GAMS\win64\24.1」のように名前にスペース (空白)が入っていない場所 (フォルダ) にあるのであれば、それで問題ありません。その場所をメモしておいてください。
- そうではなく、「C:\Program Files\GAMS\win64\24.1」というように名前にスペースが入っているフォルダにインストールされている場合には、スペースが入らない場所にコピーをしてください。
- GAMSIDE から GAMS を実行するのなら全然問題ありませんが、Emacs から GAMS を実行する場合には、そのフォルダのパスにスペースが入っていると問題が出てきます。このため場所を変更しておく必要があります。
- 以下では、GAMS がインストールされたフォルダ (gamside.exe や gams.exe があるフォルダ) を「C:\GAMS\win64\24.1」ということにして話を進めます。
- 自分のインストールしたフォルダが違う場所、例えば、「c:\GAMS\」にインストールしたなら、そう読み替えてください。

2.2. gnupack のインストール

- それでは次に gnupack をインストールします。
- gnupack は次のページからダウンロードできます。
 - http://sourceforge.jp/projects/gnupack/releases/?package_id=10360
 - 2014 年 1 月時点での最新版のバージョン番号は 11.00 です。
 - その最新版 11.00 のプログラムである「gnupack_basic-11.00.exe」をダウンロードします。
- 次にダウンロードした gnupack_basic-11.00.exe をクリックします。
- すると、解凍 (展開) する場所を聞かれるので、とりあえず適当な場所を指定してお

きます（後ほどどちらにせよ移動しますので）。

- 例えば、「c:¥work」というフォルダに解凍した場合には「gnupack_basic-11.00」というフォルダがそこに作成されるはずですが。
- 「gnupack_basic-11.00」では少し名前が長いので、「gnupack」というフォルダ名に変更します。
- そして、このフォルダをインストールしたい場所に移動してください。
- ここでは C ドライブのすぐ下「c:¥」に移動します。これで「c:¥gnupack」というフォルダに gnupack がインストールされたこととなります。特に、インストール場所に決まりはありませんが、名前にスペースが含まれる場所は避けておいてください。
- 以下、「c:¥gnupack」のフォルダに gnupack がインストールされたという前提で話を進めます。もし違うフォルダにインストールしたのなら読み替えてください。
- 注：Windows のプログラムはダウンロードの後に別途インストールの作業が必要になる場合が多いですが、gnupack はファイルを解凍すればすぐに利用できます。

2.3. GAMS mode のインストール

2.3.1. GAMS mode のファイルのコピー

- 次に GAMS mode をインストールします。
- 下の URL から gams-mode.exe をダウンロードしてください。
 - <http://shirotaakeda.org/assets/files/gams/gnupack/gams-mode.exe>
- ダウンロードした gams-mode.exe をクリックしてください。
- 先程と同様に、解凍（展開）する場所（フォルダ）を聞かれますから、適当なフォルダを選択してください。
- 仮に「c:¥work」というフォルダに解凍したとすると、「c:¥work¥gams-mode」というフォルダができているはずですが。
- この「c:¥work¥gams-mode」フォルダを gnupack をインストールしたフォルダの中に移動します。具体的には「c:¥gnupack¥app¥emacs¥site-lisp」というフォルダの下です。つまり、移動したら「c:¥gnupack¥app¥emacs¥site-lisp¥gams-mode」というフォルダができることとなります。違うフォルダに gnupack をインストールしている場合、例えば、「d:¥software¥gnupack」にインストールしている場合には、「d:¥software¥gnupack¥app¥emacs¥site-lisp」なります。

2.3.2. GAMS 用の設定ファイル

- 「c:\gnupack\app\emacs\site-lisp\gams-mode」に「gams_setting.el」というファイルがありますので、それを「c:\gnupack\home\emacs.d」というフォルダにコピーしてください。これが GAMS mode 用の設定ファイルです。
- 次に、ファイルを少し書き換えますので、「メモ帳」を起動してください。普通は、「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の中にあるはずです。
 - [注] メモ帳以外でもテキストファイルを書き換えることができるソフトウェアでしたら 何でもかまいません。
- 「メモ帳」を起動したら、メニューの「ファイル」→「開く」をクリックしてください。
- そして先程コピーした「c:\gnupack\home\emacs.d\gams_setting.el」というファイルを開きます。
- ファイル選択のウィンドウでファイルが表示されないときには、ファイルの種類を「テキスト文書」から「すべてのファイル」に変更してみてください。
 - メモ帳で開くと、中身が改行されずに全部一続きになってしまっている場合があります。これは元のファイルの改行コードが Windows 形式になっていないためです。その場合には Unix 形式の改行コードにも対応した「秀丸」などのエディタを用いてください。
- gams_setting.el を開いたら、最初の部分に次のようなプログラムが書かれていると思います。

```
;; xxxx
(setq gp_dir "c:/gnupack")
;; xxxx
(setq gams_dir "c:/GAMS/win64/24.1")
```

- 「セミコロン (;)」で始まる行はコメント行です。
- 「(setq」で始まる 2 つの行に注目してください。この setq で始まる 2 行を自分のパソコンの状況に応じて書き換えます。上に gnupack をインストールしたフォルダの名前、下に GAMS がインストールされているフォルダの名前を設定します。
- 注意点として、フォルダの区切りに円マークではなく、スラッシュ記号「/」を利用してください。例えば、gnupack を「e:\gnupack11」にインストールし、GAMS を「c:\GAMS」にインストールしているのなら、

```
(setq gp_dir "e:/gnupack11")
(setq gams_dir "c:/GAMS")
```

というように修正してください。

- 書き換えることができたなら「上書き保存」してください。

2.3.3. Emacs の初期設定ファイルの書き換え

- 次に、やはりメモ帳で「c:\gnupack\home\emacs.d\init.el」というファイルを開いてください（開くとき、やはり種類をすべてのファイルに変更）。
- この init.el ファイルは Emacs の設定を書き込むファイルです。
- この init.el ファイルには既に多くの設定が書き込まれているはずですが、その一番最後の部分に次の記述を貼り付けてください。

```
(load "~/emacs.d/gams_setting.el")
```

- これは「~/emacs.d/gams_setting.el」というファイルを読み込みなさいという命令です。Emacs では「~/」という表記はホームディレクトリを表します。例えば、「c:\gnupack」に gnupack をインストールしている場合には、このホームディレクトリは「c:\gnupack\home」というフォルダになります。
- 貼り付けたらまた「上書き保存」してください。
- 以上で GAMS mode のインストールは終了です。

【注】 ホームディレクトリとは？

- 「ディレクトリ」とは Windows で「フォルダ」と呼んでいるもののことです。
- ホームディレクトリとは元々はユーザー別に割り当てられたディレクトリのことですが、gnupack では gnupack をインストールしたフォルダの下の home というフォルダです。
- この中にいろいろな設定ファイルが置かれています。Emacs は起動したときに「~/emacs.d/init.el」というファイルを最初に読み込みます。この init.el が Emacs の初期設定ファイルです。

2.4. Emacs の起動

- Emacs を利用する準備として、デスクトップにショートカットを作成しておきます。
- 「c:\gnupack」フォルダを開いてください。そこに「emacs.exe」というプログラムがあるはずです。これが Emacs のプログラムです。
- emacs.exe を選択し、右クリックして、「送る」→「デスクトップ（ショートカットを作成）」を選び、デスクトップにショートカットを作成してください。
- 以後はそのショートカットをクリックすれば Emacs が起動するようになります。
- [注] gnupack のインストールはファイルを解凍するだけですので、自動でスタートメニューに登録されたりはしません。スタートメニューに Emacs を表示したいのなら自分で設定する必要があります。

2.5. Emacs と GAMS mode の動作のチェック

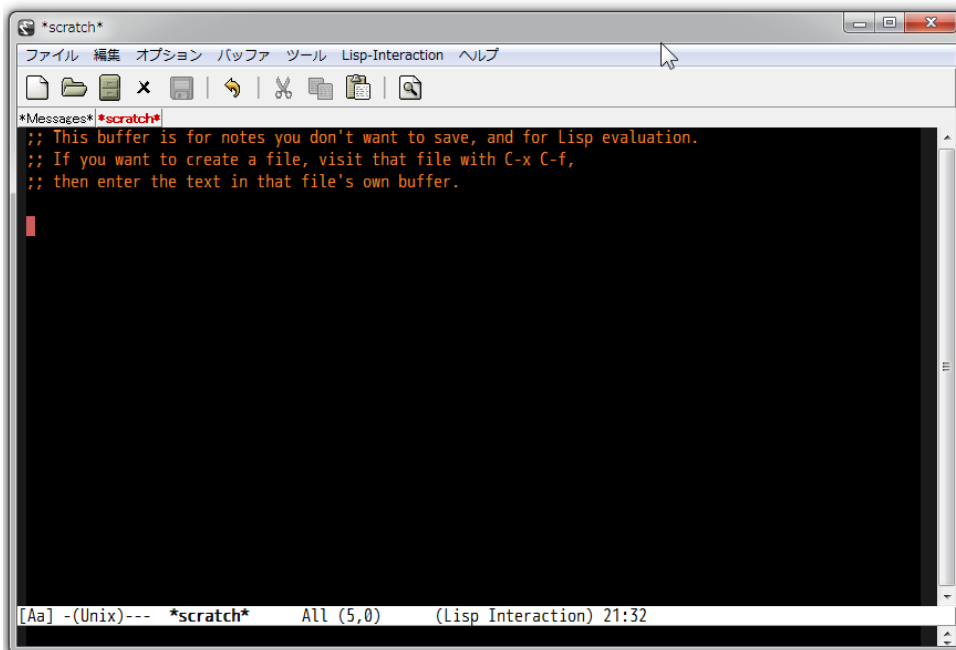
- それではショートカットをクリックして **Emacs** を起動してみてください。

```
Warning (initialization): An error occurred while loading
`c:/gnupack/home/.emacs.d/init.el':

Symbol's value as variable is void: xxxx

To ensure normal operation, you should investigate and remove the
cause of the error in your initialization file. Start Emacs with
the `--debug-init' option to view a complete error backtrace.
```

- **Emacs** の起動後に上のようなメッセージが出たら設定ファイルにエラーがあるということです。どこかで設定のミスをしていることになります。ミスした場所がわかれば、そこを修正すればよいのですが、よくわからなければもう一度初めからインストールし直す必要があります。
- 正常に起動できていれば下のバー (モードラインと呼ばれます) の部分に「*scratch*」と表示されているはず (↓のような表示になるはず) です。



2.6. GAMS mode の設定のチェック

- Emacs が正常にインストールされていることを確認したら、次に GAMS mode が正常にインストールされているか確認しましょう。
- Emacs のメニューの「ファイル」→「開く」から
「c:/gnupack/app/emacs/site-lisp/gams-mode/gams-sample-ja.gms」
というファイルを
- 選択して開いてください。これは GAMS mode に付属しているサンプルの GAMS プログラムです。
- ファイルを開いて下のバー（モードライン）の真中あたりに「(GAMS)」という表示が出ていれば GAMS mode が正常に起動したことになります。

```

gams-sample-ja.gms
ファイル 編集 オプション バッファ ツール GAMS ヘルプ
*Messages*|*scratch*|home|gnupack|app|emacs|site-lisp|gams-mode|gams-sample-ja.gms
title GAMS mode for Emacsの使い方を説明するためのサンプルプログラム
** gams-lst-file: .\doc\lst-sample.lst
$ontext
Time-stamp: <2012-09-05 22:45:46 Shiro Takeda>
Filename: "gams-sample-ja.gms"
Author: Shiro Takeda
First-written: <2001/08/13>
注:
* gams.el version 4.0 用の説明.
* Emacs (or Meadow) の操作の基本的なことについては、Emacs のメニューのヘルプ→ Emacs tutorial を読んでください.
* 「バッファ」、「ミニバッファ」、「ウィンドウ」等の Emacs の用語についても tutorialを参照してください.
* "include-sample.gms", "include-sample-2.gms" をこのファイルと同じフォルダに置いてください.
* "C-c-v"のような表記は通常のEmacsの説明と同じような意味を表します。例えば、
[Aa] P--- gams gams-sample-ja.gms Top (1,0) (GAMS) 21:34

```

- (GAMS) という表示がされない場合にはやはり設定がおかしいです。もう一度初めからやり直してください（エラー箇所がわかれば、そこを修正すればよいですが）。
- 次にメニューの「GAMS」→「Run GAMS」をクリックしてください。
- 下側に別の窓が開き、GAMS の実行ログが出力され

```

*** Status: Normal completion
--- Job gams-sample-ja.gms Stop 12/22/13 18:11:04 elapsed 0:00:00.037

GAMS process finished at Sun Dec 22 18:11:04 2013
Total compilation time is 00:00:01.

```

というようなメッセージが表示されたでしょうか。もしされていたら、Emacs から GAMS が呼び出され、正常に実行されたことを意味します。

- もし、こうならなければ、Emacs から GAMS を呼び出せていないということになります。やはりもう一度やり直します。
- 以上の作業が問題なく終われば、Emacs、GAMS mode のどちらも正常にインストールされていると思われます。

2.7. 上手くインストールできない場合

- 結局、上手くインストールできないときは次の gnupack のファイルを利用してみてください。
 - <http://shirotaakeda.org/assets/files/gams/gnupack/gnupack.exe>
- これは上で説明した修正を加えたものを圧縮したものです。そのまま展開してください。
- ただし、この修正済みの gnupack を利用する場合でも、第 2.1 節における GAMS のインストール場所のチェック、第 2.3.2 節における gams_setting.el の書き換えは自分でおこなってください。

3. 使い方

- 覚える必要があるのは Emacs 自体の使い方と GAMS mode の使い方です。最終的には GAMS mode の使い方を覚えたいのですが、そもそもその前に Emacs の使い方がわかっていなければどうしようもありません。まずは Emacs の基本的な利用方法を覚える必要があります。

3.1. Emacs の利用方法

- Emacs は非常に多機能で便利なソフトウェア（エディタ）です。しかし、その分、使い方を覚えるまでのハードルが高いです。
- Windows のソフトウェアは何となく使い方がわかるようなものが多いと思います。Emacs もなんとなくで、ある程度は使えます。しかし、Emacs を便利に使うには必ずマニュアルを読んで覚えるべきです。マニュアルを読んで基本的な使い方を頭に入れないと、Emacs の便利さはわからないと思います。
- ですので、まずマニュアルを読むべきです。ただ、マニュアルといっても何百ページに及ぶ包括的なマニュアルではなく、基本的な使い方を解説したもののことです。
- とりあえず読むべきものはメニューの「ヘルプ」→「Tutorial」です。これは Emacs の基本的な操作方法を説明したファイルです。これを読み・実践しながら覚えてください。面倒ですが、基本的な機能（特に、基本的なキー操作）を一通り覚えないと進

めません。

3.2. Ctrl キーと CapsLock キーの入れ替え

- Emacs を普通の Windows 用のプログラムと同様にメニューバーを用いながら利用することもできます。しかし、せつかく Emacs を利用するのですから、ショートカットキーを覚えて、できるだけキーボードで操作するのがよいと思います。最初は面倒ですが、一度覚えればそちらの方がずっと便利です。私も Emacs を使うときはほとんどメニューを利用しないです。
- その Emacs でのショートカットキーでは「Ctrl キー (コントロール・キー)」と他のキーの組み合わせ (Ctrl キーを押しながら、別のキーを押すという操作) が非常によく利用されます。
- 「Ctrl キー」が押しやすい位置にあるキーボード (例えば、Happy Hacking Keyboard) を利用しているときにはそれでもいいのですが、普通のキーボードでは「Ctrl キー」は左下、あるいは右下の非常に押しにくい場所に位置しています。
- これでは Emacs を使うときに非常に不便ですので、どうせ利用しないのに便利な位置にある「CapsLock キー」を「Ctrl キー」にしてみましょう。
- キーの入れ替えをおこなうソフトウェアはいろいろあります。例えば、
 - AutoHotKey: <http://www.autohotkey.com/>
 - XKeymacs: <http://sourceforge.jp/projects/xkeymacs/>があります。
- しかし、Microsoft 自身が「CapsLock キー」を「Ctrl キー」に変更するソフトウェアを出していますので、それを利用するのが無難かと思います。
 - <http://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/bb897578.aspx>
- どのようなソフトウェアでもいいのですが、「CapsLock キー」を「Ctrl キー」に変更しましょう。
- ちなみに、AutoHotKey や XKeymacs を利用すると Windows 環境全体で Emacs 風のキーバインディングが使えるようになります。一度、Emacs のキーバインディングに慣れたら、Windows 全体でも Emacs 風のキーバインディングにしてしまうと便利だと思います。私も AutoHotKey を利用して、Windows 全体で Emacs のキーバインディングを利用しています。

3.3. GAMS mode の利用方法

- GAMS mode の使い方を学ぶには GAMS mode をインストールしたフォルダにある次の二つのファイルを読みます。

- `gams-sample-ja.gms`
- `outline-sample-ja.gms`
- このファイルで **GAMS mode** の使い方を一通り説明しています。
- ただ、まずは **Emacs** の利用法を理解しないとこれを読んでも難しいと思います。まずは **Emacs** の利用法を覚えてください。それがわかればこちらは簡単です。
- `gams-sample-ja.gms`
 - まず、こちらを読んでください。こちらが基本的な利用方法の説明になります。
- `outline-sample-ja.gms`
 - こちらは **GAMS-OUTLINE mode** の説明のためのプログラムです。 **OUTLINE mode** とは計算結果の **LST** ファイルのまとめを表示する機能です。
- **GAMS mode** のキーバインディングのリストを一番後にまとめておきます。
 - 表の中の "**C-cC-v**" のような表記は通常の **Emacs** の説明と同じような意味を表します。
 - 「**C-cC-v**」: **C** は **Control** キーを表します。よって「**C-cC-v**」は "**Control key + c**" を押して、その後 "**Control + v**" を押すということです。
 - 「**M-q**」: **M** は **Alt** キーを表します。よって、「**M-q**」は "**Alt key + q**" を押すということです。

4. GAMS mode 以外のマクロ

GAMS mode 以外に、**Emacs** で **GAMS** のプログラミングをするのに便利なマクロやコマンドを書いておきます。

Ediff mode

- これはプログラムの差分（変更箇所）を表示するマクロです。下の画像のように複数のファイルの異なる場所を見やすく表示してくれます。
- `diff` というプログラムが出力する差分の情報を **Emacs** 上で見やすくするためのインターフェイスです。ですので、外部プログラムとして `diff` が必要になりますが、これは `gnupack` (の `cygwin`) に含まれていますので、`gnupack` をインストールすれば同時に利用できます。
- 同じようなプログラムをいくつも書く人、他人とプログラムのやりとりをするような人は、プログラムに加えられた細かい変更点をチェックするという作業が必要になると思います。`Ediff` を使うことでその作業の能率を高めることができます。
- プログラムを目で見て比較することは難しいですから、必須のツールだと思います。私も非常によく利用します。

```

Emacs 24.2.1 [#1]:(outline-sample_alt.gms)
ファイル 編集 オプション バッファ ツール GAMS ヘルプ
Type ? for help
2/2

parameter
  num          Iteration number
  a(iter)      Parameter a
  b(iter)      Parameter b
  c(iter,*)    Parameter for a and b;
a("iter1") = 0;

loop(iter,
  num = ord(iter);
  a(iter+1) = a(iter) + 3.14 * 0.01;
  b(iter+1) = sin(a(iter+1));
  c(iter+1,"a") = a(iter+1);
  c(iter+1,"b") = b(iter+1);
);

A: [Aa] -\-- outline-sample.gms 30% (103,0) (GAMS HeIm) 17:31[1]

parameter
  num          Iteration number
  aa(i)       Parameter aa
  bb(i)       Parameter bb
  c(i,*)      Parameter for aa and bb;
aa("i") = 0;

loop(i,
  num = ord(i);
  aa(i+1) = aa(i) + 3.14 * 0.01;
  bb(i+1) = sin(aa(i+1));
  c(i+1,"a") = aa(i+1);
  c(i+1,"b") = bb(i+1);
);

B: [Aa] -\*- outline-sample_alt.gms 30% (103,0) (GAMS HeIm) 17:31[1]

```

Org mode

- これは GAMS のプログラミングとは直接は関係ないです。
- メモをとるためのマクロです。Emacs に標準で付属しています。
- プログラムの変更点についてのメモや TODO リストを作成するのに便利だと思います。

Calc

- http://www.eonet.ne.jp/~3alchemists/Calc/TeXinfo/Texi2html/calc-jp_6.html#SEC15
- これも GAMS のプログラミングとは直接は関係ないですが、計算を行うためのマクロです。これも Emacs にデフォルトで付いています。ちょっとした計算をするのには Calc を利用した方がずっと早いです。
- Calc では逆ポーランド記法で記述します（普通の中置記法でも使えますが）。使い方が少しとっつきにくいですが、インフォのチュートリアルを一度読みさえすればだいたいわかります。

CMD mode

- <http://www.emacswiki.org/emacs/CmdMode>
- DOS のバッチファイルを編集するためのモードです。
- バッチファイルから GAMS を実行している人、GTAPinGAMS を使っている人には便利だと思います。

autoinsert

- これはファイルのテンプレートを挿入するためのマクロです。Emacs に標準的に付属しています。
- GAMS 用のテンプレートも追加できます。

windows.el

- <http://www.gentei.org/~yuuji/software/>
- 複数のウィンドウ (Emacs 用語ではフレーム) を同時に使い分けるためのマクロです。
- 作業状態を保存しておく機能もついています。

grep-find と gred-edit

- 名前の通り Emacs から grep を使うためのマクロです。
- 通常の M-x grep はカレントディレクトリしか検索しませんが、grep-find ではサブディレクトリも検索できます。
- さらに、gred-edit を使えば、検索により見つかったファイルを簡単に書き換えることができます。
- 複数のファイルを一度に書き換えるというようなときに使うと便利です。

dabbrev-expand

- これは単なるコマンドです。ものすごく便利です。
(global-set-key "¥C-o" 'dabbrev-expand)
で C-o に割り当ててます。

キーボードマクロ

- これも単なるコマンドです。エクセルの「マクロの記録」と同じようなものです。同じ処理を何回も繰り返すときに便利です。
(global-set-key "¥M-o" 'call-last-kbd-macro)
として、"C-(& "C-)" でマクロを記録、"M-o" で呼び出しています。

矩形処理

- これも単なるコマンドです。矩形処理のためのコマンドです。GAMS のプログラミングするにはやはり非常に便利です。
- よく使うのはコマンドは、"C-xrk"の矩形での切り取り、"C-xry"の矩形での貼り付けです。

ESS

- これも直接は GAMS とは関係ないです。Emacs で R 等の統計用ソフトを利用するためのマクロです。
- M-x list-packages からインストールできます。

GAMS モードのキー操作

GAMS mode		GAMS-OUTLINE mode	
C-c C-k	GAMSのコマンドの入力	SPC	現在の行の項目の表示
C-u C-c C-k	既存のコマンドの置き換え	N	次の行の項目の表示
C-c C-d	\$コマンドの入力	P	前の行の項目の表示
C-u C-c C-d	既存\$のコマンドの置き換え	t	表示する項目の選択
C-c C-n	GAMSのコマンドの入力 (補完機能付き)	T	表示する項目の選択
C-c C-o	コメント・テンプレートの入力	c	フォローモードの選択
C-c C-e	テンプレート・モードの起動	x	表示形式の選択
C-c C-w	サブルーチン・ファイルを開く	m	項目にマークする
C-c C-v / F10	LSTファイルのエラー箇所へ移動	u	項目のマークをとる
C-c C-j	LSTファイルにジャンプ	y	マークされた項目にジャンプ
C-c C-i / F11	OUTLINEモードへ移動	i	LSTファイルに戻る
C-c C-t	プロセス・メニュー	;	gmsファイルに戻る
C-c C-s / F9	GAMSの実行	?	ヘルプを表示
C-c C-l	プロセス・バッファを表示	q	閉じる
C-c C-c	ontext-offtextの挿入	l	ウィンドウを拡大
C-c C-g	ontext-offtext間のジャンプ	o	ウィンドウを縮小
C-c M-c	ontext-offtextのコメントアウト		
C-c M-g	ontext-offtextの除去	C-l	リセセンター
C-c C- / F7	identifierの宣言部分の表示	C-v / Enter	スクロール・アップ
C-c C-a	identifierのリストの表示	M-v / DEL	スクロール・ダウン
F8	対応する括弧にジャンプ	n	次の行
C-c C-f	色付けレベルの選択	p	前の行
M-g M-g	再色付け	w	フレームのサイズ変更
C-l	リセセンター	e	フレームの移動
TAB	行をインデントする		
M-C-\	リージョンをインデントする	d,f,g,h,j,k	スクロール用キー
C-c C-m	GAMSのマニュアルを見る		
C-c C-z	GAMSのモデル・ライブラリーを見る		
M-;	end-of-lineコメントを挿入	GAMS-TEMPLATE mode	
C-c M-;	inlineコメントを挿入	SPC	現在の行のテンプレートを表示
C-c C-;	リージョンをコメントアウト	ENT	テンプレートを挿入
C-c C-h	コメント部分を隠す	a	新しいテンプレートの追加
C-c C-x	GAMS-LXIモードを起動	d	テンプレートの削除
C-c C-y	ブロックを整列させる	e	テンプレートの編集
		r	テンプレートの名前の変更
		u	テンプレートを一つ上に移動
		j	テンプレートを一つ下に移動
		g	gmsファイルに戻る
		q	閉じる
		s(S)	添付レートバッファをスクロール
		h	ヘルプを表示
		o	テンプレートを保存
		p	前のテンプレート
		n	次のテンプレート
GAMS-LST mode			
y	エラー箇所へのジャンプ		
u	gmsファイルのエラー箇所へのジャンプ		
i	gmsファイルへのジャンプ		
o	GAMS-OUTLINEモードの起動		
.	includeしたファイルの表示		
q	閉じる		
?	ヘルプを表示		
s(S)	次 (前) の SOLVE SUMMARY へのジャンプ		
r(R)	次 (前) の REPORT SUMMARY へのジャンプ		
v(V)	次 (前) の VAR へのジャンプ		
e(E)	次 (前) の EQU へのジャンプ		
p(P)	次 (前) の PARAMETER へのジャンプ		
x(X)	次 (前) の Equation Listing へのジャンプ		
c(C)	次 (前) の Column Listing へのジャンプ		
L	指定行へのジャンプ		
l	エラー行へのジャンプ		
SPC	スクロール・アップ		
M-v / DEL	スクロール・ダウン		
1	ウィンドウの拡大		
2	ウィンドウの分割		
m	フレームの移動		
w	フレームのサイズ変更		
z	別のウィンドウにカーソルを移動		
d,f,g,h,j,k	スクロール用キー		